



すがわら満議会報告

連絡先：和光市下新倉 3-14-21 ☎048-462-8180 ✉nehemiahah@passion.biglobe.ne.jp

☆和光市まち・ひと・しごと創生総合戦略(素案)より

和光市人口ビジョン
平成 72 年 (2060 年) まで推計

国、埼玉県 of 創生総合戦略

和光市まち・ひと・しごと創生総合戦略
(平成 27～平成 31 年度)

第四次和光市総合振興計画基本構想
(平成 23～32 年度)

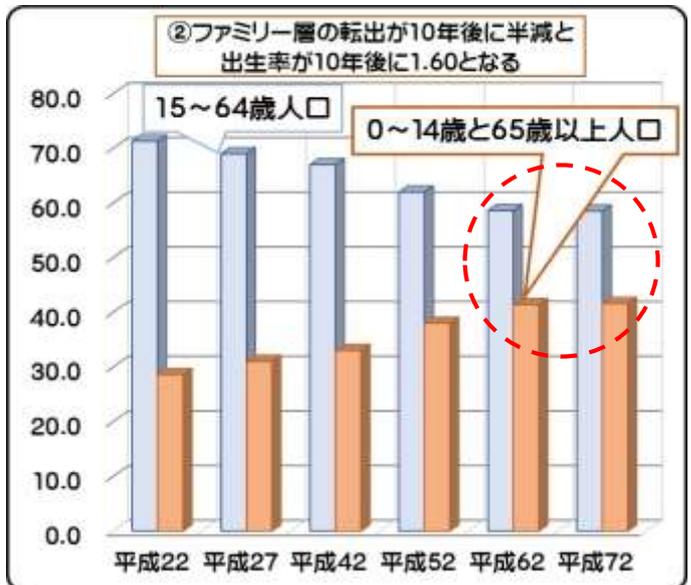
和光市まち・ひと・しごと創生総合戦略 (以下、「総合戦略」。) は、国や埼玉県の総合戦略を勘案するとともに、「和光市人口ビジョン」や各種調査結果を踏まえ、第四次和光市総合振興計画基本構想と整合性を図るものとして、「素案」が公表されています。

平成 22 年、平成 27 年の住民基本台帳実績値による「基本推計」とし、それを基に現在の人口動態の課題を前提にシミュレーションを行っています。

特に、「総合戦略」策定の前提となる人口ビジョンをみると、ファミリー層の転出半減や出生率上昇すれば人口減少や高齢化が緩やかになると推計しています。

その結果、ファミリー層流出半減や出生率上昇となった場合には、人口減少や高齢化が緩やかになると推計しています。しかし、「生産年齢」と「年少・高齢者」の人口構成をみると「総合戦略」で触れているように、財政需要の増大と税金などの歳入に関して、よりの確な見通しと行財政運営が重要となると考えます。

なお、人口ビジョンでの人口推計は、和光市公共施設白書での人口推計に準じて、



平成27年12月議会 一般質問から(概要)

◇平成27年12月議会では、3点の一般質問を行いました。その概要は以下のとおりです。

(なお、監査委員のため、新規事業を求めよう質問は、控えるようにしています。ご理解ください。)

1. 脳震盪(脳震とう)への理解や啓発

【質問】 学校生活での事故への対応はどのようになっているのか。

また、授業や部活動などで脳震盪(脳震とう)を起こした場合の対応はどのようになっているのか。特に、スポーツなどでは脳震とうを繰り返すことがあり、脳震とうを起こした後の対処が重要との専門の指摘がある。

脳震とうに関して知識と対処法を知っておくことは大切なことであると考えますが、周知や啓発について伺う。

【答弁】 けがが発生した際は、指導教員やその場に立ち会った職員の判断で、速やかに保健室での応急の対応や治療を行っている。特に、ケースによっては保護者と連絡を取り、掛かりつけの医師の診察を受けることを原則としている。学校では、慎重な対応を図ってきている。脳震とうに関しては、武道の必修化に際し、文部科学省の資料において、脳震とうについての指摘が行われています。

自己やケガが発生した場合原因の分析、再発防止、保護者への丁寧な説明や謝罪を行い、ご理解をいただくよう努めてきており、教師

の適切な指導、安全な学習環境づくり、児童・生徒の安全についての意識向上などを通して、けがの防止に一層努めていきたい。

《参考》 現在、文科省においては、学校事故の原因究明に向けた指針作りを行っており、原因究明の組織設置を盛り込むことも検討中としています。

2. 『子ども・子育て支援計画実現に向けた保育士の確保』

【質問】 平成27年度から子ども・子育て支援の事業計画がスタートした。この中では、保育園、認定こども園の整備、さらには、地域型保育の施設整備あげられている。しかし、事業計画の実現には、保育士さんの確保が重要な課題ともなると考える。国の方でも動きがあると聞かすが、和光市として保育士さんの確保策をどうするのか。

【答弁】 施設型保育施設(保育園や認定こども園など)は、平成31年度に2,557人の定員を推計し、保育園2施設、認定こども園2施設の整備するほか、認可保育所などの認定こども園への移行を推進する計画となっています。また、保育士の配置は、子どもの年齢や人数で配置基準が異なります。

保育士確保策については、現在も募集しており、ホームページや市の広報などで周知を図っている。さらに、市の単独事業として、保育士の人材育成や常勤保育士の雇用促進を行う保育所などに対して補助金を交付している。厚生労働省において、保育士の配置人数の一部を小学校教諭や養護教諭により



代替できる制度など検討している状況を注視すること、専門学校や大学との連携による実習生の受け入れなど、魅力ある保育業務を和光市から発信し、雇用規模を上げていきたいと考えています。

【参考】平成28年4月に保育園1ヵ所(70名定員)、小規模保育園5ヵ所が開設予定。右の表は、保育所などの施設の見通しです。

		年度/エリア	平成27	平成28	平成29	平成30	平成31
保 育 園	北エリア		8	8	8	8	8
	中央エリア		4	5	5	5	5
	南エリア		3	3	3	4	3
認 定 幼 児 園	北エリア		0	0	0	1	1
	中央エリア		0	0	1	1	1
	南エリア		0	0	0	0	1
小規模保育事業	北エリア		7	11	15	15	16
	中央エリア		5	5	6	8	9
	南エリア		3	4	4	7	7

*平成31年度に南エリアの保育園が、認定こども園に移行予定です。

3. 『財政運営の説明に工夫を』で市民の皆さまにお知らせするとともに、行政経営方針の策定にも活用していきたい。

【質問】 「行政経営方針」や「実施計画」での財政規模では、国県負担金補助金、地方債などの特定財源や市税などの一般財源を合わせた事業費規模で主に説明されている。健全財政の運営を考えるならば市税など市の裁量で政策経費に使える財源、すなわち一般財源についてわかりやすい説明の工夫が必要ではないか。

【答弁】 和光市行政経営方針では、歳入見込み額により行政経営方針での事業規模としている。このため、投資的事業に係る国庫支出金、基金繰入金、市債などの特定財源も含まれているため、大規模事業が見込まれるかどうかによって、行政経営方針での事業規模が大きく増減することとなる。市が自由に使える一般財源がどのような状況にあるか考えておくことは重要と認識しています。

理論的な数値ですが、市税や地方交付税などの経常一般財源から、人件費・扶助費・公債費など毎年支出する経費を差し引いた額が、平成19年度の約42億円が平成26年度で約16億円へと大幅に減少し財政の硬直化が進んでいる。このような財政状況を、財政白書などを通じて、よりわかりやすい形

で市民の皆さまにお知らせするとともに、行政経営方針の策定にも活用していきたい。

【参考】 表は、行政経営方針で示されている金額です。平成28年度の歳入見込は、235億円で、そのうち81億円が義務的な経費に充てられるため154億円が、平成28年度予算編成の基となる実施計画での採択可能額となります。

◆行政経営方針事業規模及び実施計画対象外(注:一部は、実額が示されていない。)

	歳入見込	うち一般財源	対象外	うち一般財源	採択可能	うち一般財源
平成28	235億円	—	81億円	—	154億円	—
平成27	249億円	—	79億円	—	137億円	—
平成26	210億円	159億円	71億円	71億円	139億円	88億円
平成25	205億円	155億円	70億円	70億円	135億円	85億円
平成24	215億円	150億円	—	—	140億円	80億円

※平成28は、平成27年度作成の平成28年度予算編成に向けた行政経営方針のことで、

仮に、一般財源が170億円程度と見込むと、81億円の財源はほぼ一般財源であり、残りの一般財源89億円となり、さらに法律などで決まっている市負担金、経常的に支出する事業費の動向や見通しに関して、行政としてわかりやすく説明していくことが大切と考えます。

※一般質問の様子は、和光市議会のホームページで録画配信をしています。

和光市の高齢者介護の実情は…

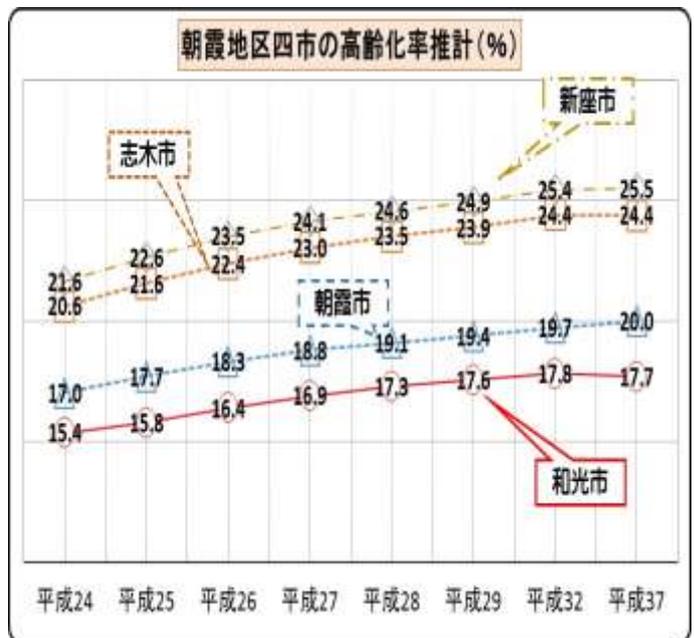
和光市の「子ども・子育て支援」や「介護」を中心として、市外からの議会関係の視察が増えており、平成23年度17団体が、平成26年度で46団体、平成27年度は1月時点で約60団体と大幅に増えています。この他にも、国や他自治体行政関係などからも視察に訪れています。

介護保険は、3年ごとの計画見直しにより事業を進めていくものです。平成27年度から3カ年の計画では、介護予防を重視し、「居宅を中心としたサービスの充実」、「介護や認知症のサポーター養成」といった「地域包括ケア推進」を図っていくこととしています。

しかし、高齢化の進展が想定される中、和光市が目指す在宅を中心とした介護サービス体制を着実に進めるためには、こうした方向性について、市民への説明、理解を求めることに一層の努めていくことが大切と考えます。

《参考》 グラフは、各市の「介護保険事業計画」より、表は、埼玉県の統計やデータより作成したものです。高齢化率だけではなく、人数、介護出現率、介護状態などを勘案しての施策の検討、展開が必要と考えます。

(注：表のデータは、平成23年11月の埼玉県ホームページの資料より作成。新設などで数字に異動がある場合があります。)



	特養		老健		保険料	介護認定率・数 (第1号被保険者) (平成24年度末)		高齢化率 (老年人口) H26. 1. 1
	施設数	定員	施設数	定員				
埼玉県	338	28,815	171	16,972	4,835	13.7	218,866	22.7
朝霞市	4	320	3	375	4,650	13.4	3,088	17.8
志木市	3	270	1	120	4,339	11.8	1,813	21.7
和光市	1	60	1	99	4,228	9.3	1,153	16.0
新座市	6	604	2	244	4,464	14.4	5,123	22.6

☆☆☆すがわら満のプロフィール☆☆☆

☆文教厚生常任委員会委員／和光市監査委員◇民主党埼玉県連幹事◆1958年(昭和33年)埼玉県秩父市生まれ◇東京都立豊島高等学校卒◆成蹊大学法学部政治学科卒◇民社党本部政策審議会事務局(建設・国土・環境の政策担当)◆1991年(平成3年)和光市議会議員(現在7期目)◇1999年(平成11年)山梨学院大大学院修士課程修了◆趣味：ウォーキング・スキー、読書◇家族・妻、息子が二人◆[http:// www.suga-man.net](http://www.suga-man.net)

☆☆拉致被害者の早期救出を！特定失踪者問題調査会・短波放送「しおかぜ」放送中☆☆